

2022 年 9 月吉日

日本口腔・咽頭科学会会員の皆様へ

日本口腔・咽頭科学会

理事長 岩井 大



舌下神経電気刺激装置適正使用指針について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本邦初の閉塞性睡眠時無呼吸症候群の植込型治療デバイス Inspire Upper Airway Stimulation(UAS)システムが昨年 6 月 1 日付けにて保険収載されました。本装置植込術は手技料算定要件として「関係学会（日本循環器学会、日本呼吸器学会、日本睡眠学会、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会）の定める舌下神経電気刺激装置適正使用指針^{*1}に基づき、耳鼻咽喉科の頭頸部外科領域において 5 年以上の経験を有し、本治療に関する所定の研修を修了している常勤の医師が実施すること。なお、当該医師の所定の講習修了を証する文書の写しを診療報酬明細書に添付すること。」という記載があります。これに伴い上記の 4 学会のひとつである日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会から委嘱をうけた私共の日本口腔・咽頭科学会が、昨年 9 月に舌下神経刺激療法推進委員会を立ち上げ、本装置の植込み実施医認定制度を導入・運用を開始致しました。

弊学会は本日に至るまでに、本推進委員会にて先ず 10 名の耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師を選抜し、昨年 12 月に 2 回、本年 2 月に 1 回、この植込型舌下神経刺激装置植込術習得のための座学研修、および解剖実習を行いました。また、今年 2 月上旬には獨協医科大、7 月中旬には藤田医科大学ばんだね病院にて、本邦 1 例目、2 例目の植込型舌下神経刺激装置植込術を行い、経過は順調でございます。またこの 8 月には少なくとも順天堂大学、藤田医科大学ばんだね病院にて手術が行われる予定と聞いております。

弊学会では本治療が本邦の CPAP 治療不適または不忍受患者の福音となるよう、また、適正使用のもと広く普及するよう、本装置の植込実施医認定制度を推進していく所存でございます。さらに日本口腔・咽頭科学会（あるいは日本耳鼻咽喉科・頭頸部外科学会）のウェブサイトを利用し、植込型舌下神経刺激療法の実施可能な施設・医師を公募するとともに、この手術を行うための座学研修、解剖実習等の受講を充実させる予定です。その後は、長期管理に関して 4 学会と相互に連絡を取りつつ検討させて頂き、さらなる植込実施施設・植込実施医の増加を図りたいと考えております。

皆様におかれましては舌下神経電気刺激装置適正使用指針^{*1}のご確認を何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

(別添)

*¹ 舌下神経電気刺激装置使用要件等基準策定一式 報告書（舌下神経電気刺激装置
（装置）適正使用指針を含む）